

# はなみずき



学校だより

鶴岡市立朝陽第四小学校

令和5年10月25日

## 四小っ子の後期が幕開け

本校は三学期制の成績二期制をとっています。9月末の面談で保護者の皆様に「学校生活のお知らせ」をお渡ししました。10月からは、縦割り班（清掃班）の編成替えなどを行いながら後期がスタートしています。残りの半期で、今年度重点目標としている「対話による主体的で深い学びの実現」「自治的活動の充実」「活動の基盤となる気力体力の向上」の実現を目指して教育活動を展開して参ります。この3項目のすべての土台は、子どもたちの主体性を育むことです。学校・家庭で対話を大切にしながら、子どもたちが本来持っている主体性を引き出していきたいと思っています。

## みんなが主役、学習発表会

10月21日に学習発表会が行われました。入場制限のない学習発表会となり、たくさんの方々からご覧いただくことができました。子どもたちが一生懸命練習した成果を存分に発揮できた学習発表会となりました。はりきって、なりきって…そんな四小っ子の姿がまぶしく映りました。



## 教育の不易流行

9月末に致道館の日にお話をさせていただく機会があり、その準備をしながら勉強させていただいたことを紹介します。

藩校致道館の教育の精神には「個性伸長」「自学自習」「会業」など、これからの教育でも大切にしていきたい精神がたくさんあります。

今学校に求められている教育は実に多様です。ICT教育、プログラミング教育、英語教育、キャリア教育、防災安全教育、食育、徳育、個別最適な学習、協働的な学習と挙げればきりがなくらいです。今、子どもたちが毎日鉛筆を削って学校に来ているのと同じ感覚で、PCを満充電にして持ってきます。一人一台PCをもって勉強する時代は、もっと先であろうと思っていましたが、こんなに早く訪れるとは思っていませんでした。学校での学びの姿が大きく変わってきましたし、もっと変わっていくことを求められている時代だと思います。様々な変化はありますが求められていることは「主体的に生きる力」の育成だと思います。個人の自立と周りとの調和を大切にできる人を育てることだと認識しています。この考え方は何も新しいものではなく、致道館教育の精神そのものでないかということを確認したところです。

### 創立10年記念式典もうすぐ

全校児童、教職員、来賓29名をお迎えし開催します。これまでの10年に感謝し、未来の四小に思いをつないでいく会にしたいと思います。式典では、「暁薫らん」、群読、校歌を披露します。

## ～学校における働き方改革について～

本校に限らず、全国の学校で教職員の超過勤務について数多くの課題が挙がっています。保護者や地域の皆様のご理解をいただきながら本校の超過勤務時間は減少の方向に向かっているものの、本県の公立学校の働き方改革プランの目標をクリアするところには、遠くたどり着いていない状況です。

本校の勤務時間は、8:15～16:45で昼に休憩時間45分を設定しています。ただ、昼には給食指導、清掃指導、連絡帳の確認、宿題やプリント等の丸付け、委員会の指導、次時の授業準備等わずかな隙間の時間を見つけて仕事をしています。教職員の職場環境の整備は少しずつ工夫しているもののまだ不十分な状況です。このような現実からか教員のなり手不足もかなり深刻化しています。働き方改革は教育の衰退をもたらすのではないかという声もあろうかと思えます。しかしながら、心身ともに健康で笑顔いっぱい子どもたちに向き合えることが、教育の充実につながるものと考えます。

### 【取り組んできたこと】

- 教職員の出退勤時間管理タイムレコード化
- 行事の精選
- 欠席等の連絡のICT化
- 学級通信等の精選化、電子化
- 家庭訪問の廃止
- 通知表の内容、配付方法の変更
- 校内事務書類の削減
- 日課表の変更
- 夏休み等の自由応募作品の出品方法

(…などその他の面でも工夫してきましたが、さらに簡素化、削減、選択と集中が必要だと感じています。)

### 【今後】

教育活動、教職員の働き方の見直しだけでなく、保護者や児童の負担も考慮しながら、限られた時間で最大の効果が期待される教育活動の在り方を考えていきます。今年度の後半に向けて、そして来年度に向けて本質に立ち返りながら、子どもに向き合えるように工夫、変更をして参ります。皆様のご理解とご協力を心よりお願いいたします。(校長)